

## 臨床研究に関する情報公開

福島県立医科大学呼吸器内科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月 福島県立医科大学医学部呼吸器内科学講座  
教授 棟方 充

【研究課題名】 呼吸器疾患の病態と神経ペプチドに関する研究

【研究期間】 平成 27 年 7 月～平成 30 年 3 月

【研究の意義・目的】喘息や過敏性肺臓炎などの呼吸器疾患には、一般に抗アレルギー薬、ステロイドを用いた治療が行われています。しかし、治療抵抗性を示すことがあり、場合によっては慢性化、重篤化することがあり、病気の状態や進行に応じた適切な治療が予後改善のための原則となりますが、難治性の喘息やステロイド抵抗性の喘息患者に対する治療法は十分に確立されてはいません。

神経ペプチドには、アセチルコリンやサブスタンスPやニューロキニン等のタキキニン類があり、サブスタンスPは血管の透過性を亢進し、ニューロキニンは気道の平滑筋を収縮することが知られています。これまでの喘息に関する基礎研究で、神経ペプチドが炎症・免疫反応において肺組織においても産生され、病態を悪化させることが明らかとなり、これらのペプチドを感知する受容体(NK1RやNK2R)からのシグナルを遮断することで、呼吸器疾患の改善が期待できることが示唆されています。

そこで、本研究では、喘息や過敏性肺臓炎などの呼吸器疾患に関連した例における神経ペプチドとそれらの受容体の制御に関わる遺伝子発現、タンパク発現変化の特性を明らかにし、そのプロファイルと病理学的特徴や予後との関連から、呼吸器疾患の発症機序、重篤化に関わる新知見を得ることを目的としています。

【研究の方法】 当科において喘息、過敏性肺炎などの呼吸器疾患と診断された患者さんの臨床データと生検組織を使用して、呼吸器疾患における神経ペプチドの役割を解析します。

【研究組織、研究機関名】

研究責任者	呼吸器内科学講座	教授	棟方 充
主任研究者	呼吸器内科学講座	准教授	谷野功典
研究分担者	呼吸器内科学講座	助手	二階堂雄文
〃	呼吸器内科学講座	助手	美佐健一
〃	呼吸器内科学講座	助教	王 新濤
〃	附属病院呼吸器内科	病院助手	東川隆一
〃	附属病院呼吸器内科	病院助手	佐藤佑樹

【人体から採取された試料等の利用について】

日常診療で得られた臨床データと生検組織を利用します。

【研究者が保有する個人情報について】

研究者が保有する個人情報に関し、被験者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続が必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書等の交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問合せ先】

○ 研究内容に関する問合せの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部呼吸器内科学講座 担当 谷野功典

電話：024-547-1360 Fax：024-548-9366 E-mail：pulmo@fmu.ac.jp

○ 個人情報に関する窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学総務課大学管理係

電話：024-547-1007 Fax：024-547-1995

○ 苦情の窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学研究推進課 研究支援担当

電話：024-547-1825 Fax：024-547-1991 E-mail：rs@fmu.ac.jp